

Table with 4 columns: 事務事業名, 政策名, 施策名, 基本事業名. Content includes '森林整備加速化・林業再生事業', '総計画体系', '(V)賑わいあふれる雲南市<産業・雇用>', '(34)林業の振興', '(102)適切な保育管理', '所属部: 産業振興部', '所属課: 農林振興課', '所属G: 森林バイオマスグループ', '課長名: 高野耕治', '担当者名: 佐藤伊知郎', '電話番号(内線): 0854-40-1051, 3703', '予算科目: 011310115018 中事業 森林整備加速化・林業再生事業'.

1 現状把握の部

(1) 事業概要

Table with 3 columns: ①事業期間, ②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述), ③開始したきっかけ. Content includes '単年度のみ', '単年度繰返(年度~)', '期間限定複数年度(21年度~26年度)', '平成21年度に事業が開始されたのにあわせ、保育等必要な市有林について、除間伐、作業路網の整備の計画を立て事業を実施した。'.

(2) トータルコスト

Table with 2 main columns: ①事業費の内訳(概要), ②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等). Includes sub-tables for '事業費の内訳' (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源) and '延べ業務時間の内訳' (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計). Total costs are summarized at the bottom.

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Table with 2 main columns: 手段 (23年度実績, 24年度計画), 指標名. Includes '活動指標' (事業の発注件数, 市有林の整備面積, 作業路網開設延長) and '対象指標' (市有林・市行造林地面積).

Table with 2 main columns: 目的 (対象, 意図), 上位目的 (結果), 指標名. Includes '対象指標' (市有林・市行造林地面積) and '成果指標' (市有林の整備面積(累計), 市有林路網整備延長(累計)).

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか, ②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯, ③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか. Content includes '森林整備は県の造林補助金によるところが多いが、県の財政難により計画的な森林整備が難しい状況が続いてきた。' and '林業事業者からは事業の継続が望まれている。'.

事務事業名	森林整備加速化・林業再生事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 除間伐、路網整備等は、市内森林の健全な保全に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 対象は市有林であり、市の責任において管理を行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象は市有林を対象としており、限定・追加はできない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 市有林の詳細な状況把握をすることにより、更に効率的な施策が低コストで実施できると考える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 市有林の荒廃及び環境の悪化、林業・木材産業の衰退
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 県が示す標準単価程度で実施しており、事業費削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 専門的な知識が必要となり、委託等による人件費の削減効果は期待できない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市有林を対象として実施しており適正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	未整備森林が多数存在する一方、伐期を迎えており利用間伐等が必要であるが、予算不足と現状把握が十分でないため対応が十分でない。 今後は、コスト削減や事業効率化のため森林状況の把握に努め、利用間伐や作業路整備等を更に進めたい。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
伐期を迎えている森林など保育・間伐等が必要な森林は多々あるが、市の予算不足及び森林情報の把握ができていないことが課題である。今後は森林組合等と連携して森林情報の把握に努め、効率的な路網整備と利用間伐の推進を実施していく必要がある。また木材利用の促進も併せて実施していく必要がある。																						